

第31回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会 委員からのご意見等と事務局の回答

1 経過報告(議事概要及び資料1)

【委員からの意見・質問】

森林経営クレジットへの注目は県内の森林所有者らの中でも高まっているようですので、今が力の入れ時かと思えます。販売契約を強化する取り組みとして、県外企業への販売強化を目指して、契約企業側の立場への配慮も加えてはいかがでしょうか。具体的には、県外消費を進める中で相手企業に詰められる「なぜ高知産クレジットを選ばなければならないのか」という点(相手企業で内部承認を得る上で重要)の付与です。来場者からも「生態系」への価値の広がり示唆されたようですが、「高知らしさ」との連結も必要になるかと思えます。高知らしさとして思い浮かぶのは、「よさこい」「日曜市」「坂本龍馬」「遍路」「太平洋・黒潮」などですが、これらとの接合で相手企業の内部承認が得られるだけの高知の森支援のストーリーを描くことが重要かと思えます。例えば、「よさこい」との連結で、「よさこい」を支える森づくりなどでしょうか。イメージは、森林施業の目的の一つに地域文化のよさこいを山車・鳴子・観覧場などへの木材優先供給で支える＝「地元文化を支える」という目的を入れて、森林管理の価値を高めるものです。よさこいチームと協定を組んで、チームメンバーやその家族らを森林に招待(森林環境教育)もすると「次世代教育」の要素も追加されます。もちろんクレジット購入企業への招待も良いと思えます。このように、SDGs 対応なども視野に入れた「だけじゃない！高知の森林経営クレジット」の推進支援がこれからは重要ではないでしょうか。

【事務局からの回答】

SDGs への対応が必要となっている中、森林吸収系クレジットは、森林所有者だけでなく企業側からの注目も高まっていると考えます。一方で、全国で創出されているクレジットの中から高知県産のクレジットを選んでいただくには、ご意見のとおり、森林も含めた高知県の価値や魅力を伝えていく工夫が重要と考えます。販売強化に向け、いただいたご意見の視点も踏まえて取り組んでいきます。

2 永続性確認結果・森林管理プロジェクトに係る特別措置について(資料2)

- ・登録された事業者から提出された文書、書類等に不備はなく、対象森林に異常がないことについて確認されており、意見等はなし。

3 高知県版J-クレジット制度変更・更新について(資料3)

- ・内容は適切に処理されており、意見等はなし。

4 高知県版J-クレジット制度制度文書の改定について(資料4)

- ・内容は適切に処理されており、意見等はなし。

5 その他ご意見

- ・その他ご意見等はなし。